

令和 6 年 12 月 16 日

意見発表

◆亀井たかつぐ委員

公明党神奈川県議団を代表しまして、本常任委員会に付託をされた諸議案等について意見、要望を申し述べます。

まずは三浦半島エリアにおける観光振興の取組についてです。

三浦半島地域においては、観光が主力産業の一つとなっていることは言うまでもありません。しかし、観光の魅力を高め、観光客のリピーター化や滞在時間の拡大、新たな観光客層の開拓を進めなければ、三浦半島全体の地域経済に好循環を生み出し稼ぐ力を向上させることはできません。要するに、観光客と地元住民らがウィン・ウィンの状態にならないければ持続的な観光振興にはつながりません。ぜひ観光客と地元の方々が互いに満足できるような取組をお願いいたします。

また、三浦半島広域観光推進組織DMOを中心に広域的な観光戦略を展開しようとしたものの、うまくいかなかったことを教訓に、企業、団体、地域住民らとの連携はもちろん、企業同士のつながり等が生まれるよう、ヘッドクォーター的な機能を軸に三浦半島の観光振興が持続可能なものとなるよう要望いたします。

次に、ムスリム観光客の誘致についてです。

訪日観光客の客足はコロナ禍前の水準に戻りつつあります。インバウンド需要はさらなる盛り上がりを見せると期待をされているところですが、今後の観光振興を図っていく上では、成長を続けるムスリム市場なども取り組んでいく必要があると考えます。

ムスリム観光の誘致については、旅行ニーズや市場動向等の研究はもちろん、文化や習慣、特に礼拝施設の在り方や食事についての配慮を尊重した受入れ環境の整備に取り組むことをお願いいたします。また、ムスリムということについては、神奈川県内だけではなく、まだまだ認知不足にあると感じます。これからはムスリム観光についてより一層の情報発信に努めるよう要望いたします。

以上、意見、要望を申し述べまして、本常任委員会に付託をされた諸議案等について賛成を表明して、意見発表とさせていただきます。